



鉄道による45フィート国際海上コンテナ輸送の実証実験を実施します。

貨物を積載した45ft コンテナ鉄道輸送を検証する我が国初の試み

－東京貨物ターミナル駅～宇都宮貨物ターミナル駅間－

(京浜港物流高度化推進協議会 背後圏内陸部WGの取組み)

記者発表資料

現在我が国においては、45ft コンテナは、当該コンテナに適合するシャーシが存在しないことなどから、実質的には使用できない状況にあります。しかし、40ft コンテナより長さが 5ft(約 1.5m)長く、容積も大きいコンテナであることから、物流の効率化に取り組んでいる荷主企業からその利用の要請は非常に高くなっています。

45ft コンテナは、平成17年に ISO 規格化され、北米・中国航路において多数利用されており、国際競争力強化の観点から我国での導入に向けた検討が求められているところです。

今回の実証実験は、(株)クボタの協力を得て、中国との輸出入貨物を 45ftコンテナを用い、東京港大井埠頭直背後に立地する東京貨物ターミナル駅～宇都宮貨物ターミナル駅間において鉄道輸送を実施するものです。

実際の貨物を積載した 45ft コンテナの鉄道輸送は、我が国初の試みです。

実施日時：平成22年2月24日(水) 14:00 ～ 16:30

実施場所：東京貨物ターミナル駅構内

対象貨物列車：5584 便上り列車(宇都宮(夕)駅始発→東京(夕)駅到着)

検証内容：45ft コンテナの鉄道輸送・貨車荷役における安全性・安定性のハード面の課題を検証

① 45ft コンテナ鉄道輸送の走行性に係る検証

② 貨物ターミナル駅構内での荷役作業性に係る検証

○現地取材について

実験の現地取材を当日に行います(別紙参照)。取材を希望される方は、2月23日(火)12:00までに国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 TEL：045-211-7437 へお申し込み下さい。

【京浜港物流高度化推進協議会】

関東地方整備局及び関東運輸局では、官民の京浜港の関係者により構成される本協議会を設置し、官民が一丸となり、協働で、同港の国際競争力強化に向けたあらゆる課題に取り組んでいます。本協議会では、「京浜港物流高度化行動計画」に基づき、背後圏内陸部輸送、はしけ・内航フィーダー輸送、臨海部輸送の各ワーキンググループ(WG)での実証実験等により、外貨貨物物流の高度化に向けた取組みを進めています。

平成22年2月19日(金)

国土交通省

関東地方整備局

関東運輸局

同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、物流専門紙

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局港湾空港部 港湾物流企画室

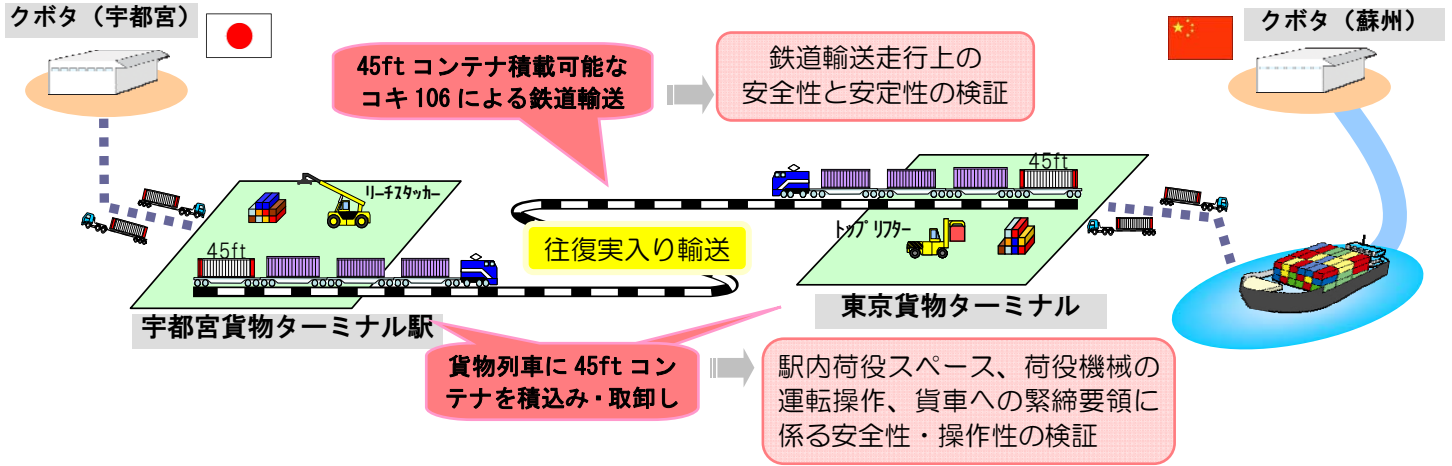
室長 なかむら 中村 けんじ 謙治、課長補佐 いたくら 板倉 しん 新

TEL:045-211-7437 FAX:045-211-0204

鉄道による 45ft 国際海上コンテナ輸送の実証実験について

I 目的

40ft コンテナよりも 5ft (約 1.5m) 長い「45ft 国際海上コンテナ (実入り)」の鉄道輸送と駅内荷役に係る安全性及び安定性等を検証するため、宇都宮貨物ターミナル駅～東京貨物ターミナル駅間において、実証実験を行います。



II 方法

45ft 国際海上コンテナ (実入り) を貨車 (コキ 106) に積み込み、宇都宮貨物ターミナル駅～東京貨物ターミナル駅間で鉄道輸送を行います。



45ft コンテナと貨車 (コキ 106)



東京貨物ターミナル駅



海上コンテナホーム

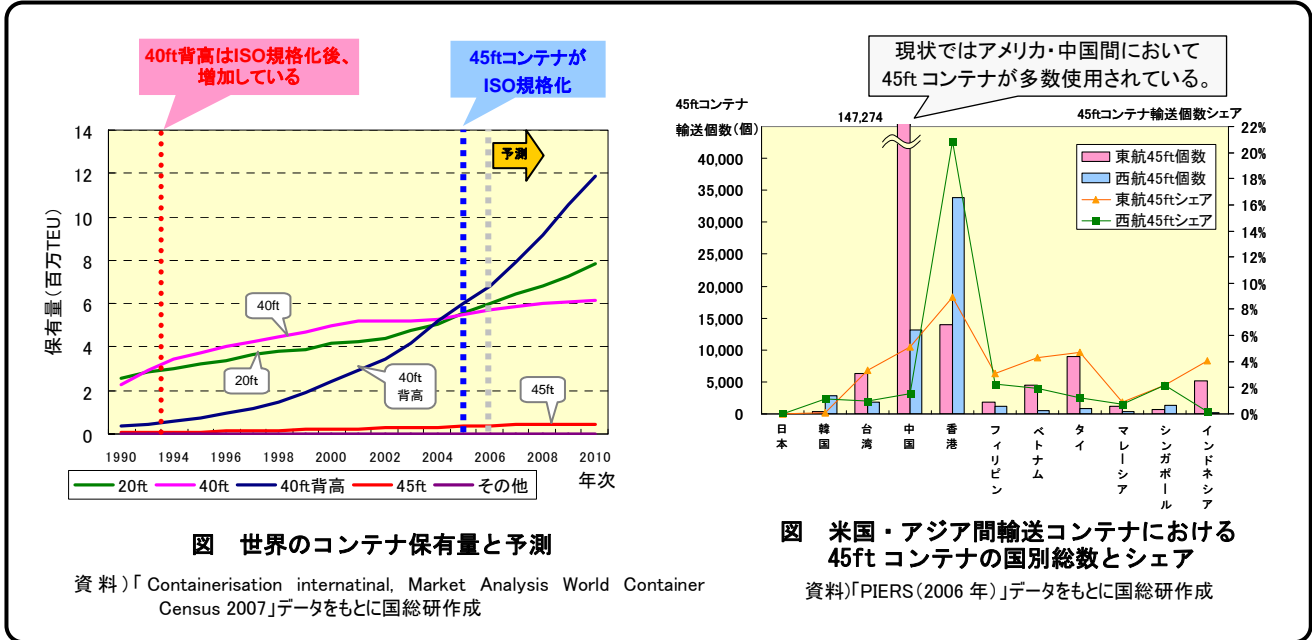


トプリフター

(参考) 45ft 国際海上コンテナについて

1. 45ft コンテナの概要

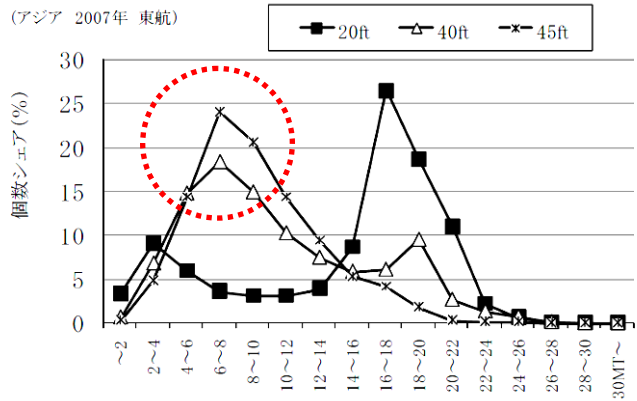
45ft コンテナは 40ft コンテナに比較して 5ft (約 1.5m) 長いコンテナです。45ft コンテナは 2005 年 10 月に ISO 規格化され、現在、アメリカ・中国間で多数使用されており、今後、世界において同コンテナの取り扱いが増加する可能性があります。



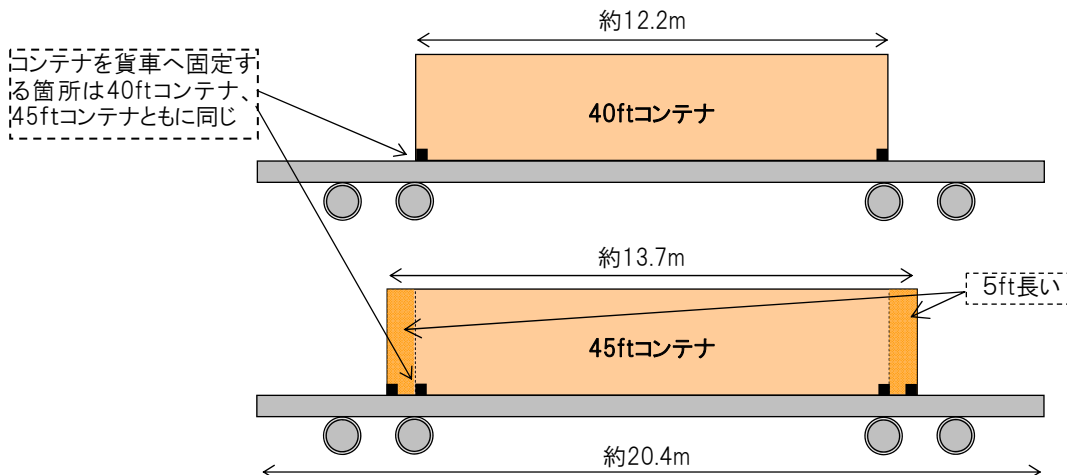
2. 45ft コンテナ輸送のニーズ

40ft コンテナ及び 45ft コンテナは、比較的軽い貨物の輸送に使用されています (右図参照)。

40ft コンテナに比べ、積載容積の大きい 45ft コンテナは、より多くの貨物が輸送できるため、軽量物を輸送する荷主のニーズは高くなっています。



3. 45ft 海上コンテナの貨車 (コキ 106) への積み込み状況



現地取材対応について

実験の実施にあたり、記者の方々への現地取材対応を行います。

開催日時：2月24日(水) 14:00～16:30

集合：14:00 JR品川駅 港南口
バスにて東京貨物ターミナル駅(以下、東京(夕)駅)へ

概要説明：14:30～15:30 東京(夕)駅 中央研修センター 会議室
【東京(夕)駅及び実験概要等について説明】

見学：15:30～16:15 東京(夕)駅 海上コンテナ荷役ホーム
【45fコンテナ及び同コンテナの貨車荷役、輸送の様子を見学】
視察後、バスにて品川駅へ

解散：16:30 JR品川駅 港南口

【注意事項】

- ・ 現地取材を希望される方は、2月23日(火)12:00までに国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 TEL：045-211-7437 へお申し込み下さい。なお、希望多数の場合は、人数を調整させていただく場合があります。
- ・ 現地では、係員の誘導に従って下さい。
- ・ 駐車場はございませんので、当日は、公共交通機関又はタクシーをご利用ください。
- ・ 行程時間は前後する場合があります。
- ・ 当日の荒天により中止の場合は、前日の14時までに決定し、申し込まれた方にご連絡をいたします。